

第8回 まちづくりフォトコンテスト

「どこどこ？三鷹」

三鷹にもまだまだ、こんなにいい所があったんだ！
あなたのお気に入りを入りの写真に。



第7回まちづくりフォトコンテストサービス判部門金賞作品「同窓会」飯塚伊左さん

◆応募作品 平成14年1月1日以降に三鷹市内を撮影した未発表の作品。
◆部門 ①大判部門、②サービス判部門、③デジタル部門 ※組写真は不可
◆審査員 佐伯裕五さん(元カメラ毎日編集長)、ケイ・アン子さん(マールタラント)、主催者
◆募集期間 平成15年12月1日(月)～15年1月10日(金)
◆審査結果発表 平成15年2月16日(日)の「広報みちか」にて発表

まちづくりフォトコンテスト賞・賞金

	大判部門	サービス判部門	デジタル部門
金賞	1点 5万円	3万円	3万円
銀賞	1点 2万円	1万円	1万円
銅賞	3点 1万円	5千円	5千円
佳作	5点 3千円	2千円	-
審査員特別賞	3点	1万円(部門問わず)	-
MISHOP賞	5点	1万円(部門問わず)	-
まちかど発見賞	5点	2千円(部門問わず)	-

※ 賞金のほかに副賞があります。
※ MISHOP賞は国際色豊かな作品に贈られる賞です。

◆作品展示 平成15年2月18日(火)～23日(日) 三鷹市美術ギャラリーにて。
◆主催 ㈱まちづくりの三鷹(〒181-8525) 下連番3・38 4三鷹産業プラザ2階(番40-9609)

この何年かの間に、市内のほとんどの小中学校で、保護者や地域の人が、各種専門家などが授業に参加するようになってきました。
第四小学校では、平成12年度から「夢育の学び舎構想」を掲げて、地域指導者や学習支援者を授業に迎えるとともに、課外の選択活動として吹奏楽や手話、パソコン、読み聞かせなどを地域の人が指導する20の「きらめきクラブ」が活動中です。現在、こうした教育ボランティアに人が登録されています。
また、高山小学校では、校舎建て替えるために東京女子大学奉礼キキパス内の仮校舎にて平成13年度に教育ボランティア「赤とんぼの会」が誕生し、現在約100人の保護者や地域の人が登録して、算数の授業補助、読み聞かせ、パソコン、校外学習の安全指導などを行っています。今年度から、本格的にこうした活動に取り組み始めた第一小学校では、4月に「サポートスタッフ募集」のチラシを全校児童に配付し、ホームページでも呼びかけを行いました。

これまでに100人を超える人々が登録しています。児童の父母やおじいちゃん・おばあちゃん、地域の人、学生など、年齢も立場もさまざまなき間をサポーター
◆算数の時間をサポーター
6月10日、2年2組の算数の時間をのぞいてみると、写真付きの1Dカードを首から提げたサポータースタッフが参加していました。この学級にお子さんがいる木谷雅之さん、塩多幸恵さん、葉加加登さん、の3人です。
子どもたちは、教室にいるお母さん先生たちについて慣れた様子で足し算・引き算の筆算のプリントを解き終わると、次々に3人にプリントを渡していきます。「さあ、全問正解してあげよう」「できたね」「さあ、もう一回やってみよう」「できたね」

その間、担任の上松先生は時間のかかっている子の様子を見て、個別に指導していきいます。「読み書き、算数などの基礎基本の確かな習得が重視されるようになっていますが、個人差が大きい小学生には、早くきて時間をもらってほしい」と、サポーターが入ることで、それぞれの子どもに合ったきめ細かい指導が可能になりました。と、齋藤久美子教頭。
算数の授業のお手伝いのほかに、本の読み聞かせ、パソコン指導、総合的な学習の時間や図工・家庭科の授業支援、クラブ活動の指導、内の木や草花の世話などもサポータースタッフの活動はさまざまに分野に及びます。
「多くの人が日常的に学校に来るようになってくると、授業公開のよいきっかけにもなり、多様な人々の関わりで教師の世界も開かれ、お母さんたちの我が子中心の見方も

今学校で サポートスタッフ

変わる「子どもたち」とともに、教師も親も学び合っているのです。日々授業を変えるサポータースタッフ募集のねらいは、こうした普段の学校の日々の授業を充実させることにある。
二小では、「個々が充実し得れば、全体の充実もありえる」といふ中村校長の考えのもと、昨年度から、教師が校内のさまざまな仕事を「役1人制」で担うことと、それまでの委員会方式を廃止しました。会議を減らすためです。また、グループで行っていた教育研究を今年度から「個人テーマによる校内研究」に切り替え、1人1テーマを設定して教師全員が順番に授業を公開し、見学した同僚たちと授業内容を検討するといった形になりました。
「国際的な比較でも、日本には学ぶことが楽しいと感じる子どもが少なく、学習意欲が低いと言われます。学ぶこ



サポートスタッフのお母さんにプリントを見てもらう

この楽しさ」を知る喜びが感じられる質の高い授業を、教師の日の努力と、保護者や地域のみさんの協力で実現していくことが、サポータースタッフ募集の目的です」と中村校長は語っています。
この二小で、数人のお父さんを中心とした「パソコン裏サポート隊」が熱心な活動を進めています。次回はその様子をお伝えします。

新たに教育委員会委員・委員長決まる

5月26日付けで、新たに狩野葉子(かの) よしこ氏が教育委員会委員に任命されました。また、6月7日に開催された平成14年第6回教育委員会定例会において、山田信子氏が教育委員会委員長に選出されました。委員長の任期は、平成15年6月6日までです。

「e都市ランキング2002」で三鷹市が全国1位

5月27日発行の雑誌「日経パソコン」(日経BP社)の特集「e都市ランキング2002」で、三鷹市が全国の584都市(※)の中で第1位となりました(岡山県岡山市も同率1位)。
このランキングは、「インターネットでの情報とサービスの提供」「市内インフラ整備」「情報化政策」の3つの視点でのアンケート回答を同誌編集部が得点化し、総合評価を割り出したものです。
三鷹市は、情報・サービスの提供や、ハード面の整備を確実に進めて100点満点中98点と評価されています。
また、市長を補佐して、情報政策全般を推進する特別職の「情報政策コーディネーター」を新設して民間から人材を起用していることや、市立全小学校で「学校・家庭・地域連携イントラネット」のプロジェクトを進めていることなど、独自の取り組みにも積極的に評価されています。
※「584都市」は、全国の市と東京23区(695都市)のうち、このランキングのためのアンケートに回答した自治体の数。

チケットインフォメーション

三鷹市芸術文化振興財団 (三鷹市芸術文化センター内) ☎47-5122 http://mitaka.jp.org/

チケットのお求め方法

- 電話予約 芸術文化センター ☎47-5122
- 窓口販売 芸術文化センター/三鷹市美術ギャラリー/三鷹市公会堂
- 販売時間 休館日 10:00~19:00 月曜日休館
- プレイガイド チケットぴあ ☎03-5237-9999

★日の公演には託児サービスがあります。公演日の2週間前のお申し込みまで、電話で芸術文化センターへお申し込みください。料金500円/対象：1歳半〜未就学児/定員10人

友の会MARCL (マークル)

財団主催の全公演のチケットが1割引(朝引は2枚まで)で購入でき、優先予約があります。よりよい席でお申し込みください。また、チケット日より前に情報誌を送りますので、公演情報を漏れなく知ることができます。年会費は2,000円です。くわしく

は芸術文化センター☎47-5122へ。

三鷹市公会堂

●松竹大歌舞伎公演
チケット発売日 友の会/7月4日(木) 一般/7月11日(木)
11月2日(土)14:00開演
全席指定/会員=4,500 一般=5,000
今年も松竹大歌舞伎の公演がやってまいりました。主演主要俳優が勢揃いしている口上の披露もあります。東京では二鷹一日限りの特別公演です。
出演/片岡我哉、片岡秀太郎、中村瓶雀、片岡進之介、片岡愛之助、土村吉弥ほか
演目/修禪寺物語、口上、太刀盗人

芸術文化センター風のホール

★森麻季ソプラノ・リサイタル
チケット発売日 友の会/7月3日(水) 一般/7月10日(木)
11月8日(金)19:15開演
全席指定/会員=3,000 一般=3,500 学生=1,800
曲目/G、P、ヘンデル/歌劇「セルセ」より「なつかしい木陰よ(オブラ・マイ・フ)、

歌劇「リナルド」より「涙の流れるままに」ほか
イタリア音楽コンコロソ優勝、ドミンゴ・世界オペラコンテストをはじめ名だたるコンクールで優勝し、その類まれなる美声とテクニックが絶賛されるソプラノ森麻季が登場。リントン・劇場でアメリカ・デビューし、世界初に活躍を続けている彼女の軽やかさ「心に届く歌声」をご堪能ください。

★エレノ・グリモエーノ・リサイタル
チケット発売日 友の会/7月9日(水) 一般/7月16日(水)
12月11日(土)15:00開演
全席指定/一般 S=3,500 A=2,500 学生=1,800 会員 S=3,150 A=2,250
曲目/J.S.バッハ=フーナーニ：シヤコンヌ パートゥーヴェン：ピアノク・ソナタ第30番長長調♯109 プラムス：3つの奏楽曲♯117 プラムス：2つの狂詩曲♯79
現在、若手ピアニストの中でトップの存在といわれているフランス生まれのエレノ・グリモエーノ、天性の卓越した技術と情熱的な演奏で聞き手を魅了するスタイルであることともに、自然な発音、オボエを思わせるような、音楽だけに留まらない個性の道を歩んでいます。野性味と穏やかさを同時に備えたその魅力をこの機会にぜひご覧ください。

公募20人が風のホールでリレー演奏 一般公募によるショパン・ピアノ作品リレー演奏会 ショパンを弾こう4

7月6日(土)13:00開演
16:30終演予定
会場/芸術文化センター風のホール/全席自由入場無料
4回目を迎える「ショパンを弾こう」今年もまた、小学生から50代まで、ピアノ歴も数年から30年以上まで、幅広く70数通もの応募をいただきました。残念ながら当日ステージに立てなかったのは、そのうちの22人ですが、この晴れ舞台のためにみなさん腕に磨きをかけて、お気に入りの作品心をこめて演奏します。
また、このリレー演奏会の最後にはショパン・コンクールでの個性豊かな演奏が披露されたピアニスト、ケマル・ゲキチ氏も出演します。
「ピアノの詩人」ショパンの美しいメロディを、ぜひ聴きにおいでください。

昨年の「ショパンを弾こう」より

★ケマル・ゲキチ・ピアノ・リサイタル
～オール・ショパン・プログラム～
7月6日(土)18:30開演
全席指定/会員・三鷹市内在住在勤の方=2,000 一般=2,500 学



昨年の「ショパンを弾こう」より